

琵琶詩吟名匠録

- 日本琵琶楽協会
 - 事務所 東京都港区西新橋一丁目一〇番一〇七電 電話三七八九番
 - 薩摩正絃会
 - 事務所 東京都港区西新橋一丁目一〇番一〇七電 電話三七八九番
 - 薩摩正絃会
 - 理事長 辻靖剛
 - 事務所 東京都港区西新橋一丁目一〇番一〇七電 電話三七八九番
 - 自宅 東京都港区西新橋一丁目一〇番一〇七電 電話三七八九番
 - 事務所 東京都港区西新橋一丁目一〇番一〇七電 電話三七八九番
 - 宗家 針谷錦古
 - 高崎市岩鼻町二丁目四七番 電話(高崎)四六三〇〇六番
 - 前田秋声
 - 東京都品川区西五反田四丁目八番一〇番 電話(高崎)八三三三番
 - 錦心流琵琶教授
 - 本都 廣瀬綴水
 - 大阪府枚方市上島東町四丁目四番 電話(高崎)〇七二〇〇三九三番
 - 三浦蓮水
 - 西宮市羽衣町七丁目三四番 電話(高崎)〇七二〇〇三九三番
 - 友吉鶴心
 - 東京都品川区東品川二丁目二六番 電話(高崎)〇四二二五二番
 - 石坂鶴朋
 - 川口市安行原二丁目二五番 電話(高崎)〇三三二八二番
 - 内山鶴崇
 - 札幌市豊平区中の島一条九丁目 電話(高崎)〇八四七四番
 - 望月啞江
 - 市川市東菅野四丁目八二番一〇番 電話(高崎)〇三三二八二番
 - 菊水流本部
 - 東京都葛飾区青戸六丁目二番 電話(高崎)〇三三二八二番
 - 日本琵琶振興会本部
 - 越谷市大成町一丁目三九二番 電話(高崎)〇三三二八二番
 - 錦心流大館派教授
 - 前田田洲月
 - 東京都杉並区成田東三丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 桑名洲聖
 - 東京都豊島区白金三丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 平井洲誠
 - 埼玉県所沢市日吉町七丁目三番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 荒川洲帆
 - 東京都渋谷区渋谷一丁目六番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 稲垣洲玲
 - 東京都世田谷区梅丘一丁目一〇番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 松崎洲陵
 - 千葉県黒砂三丁目九二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 山田洲鳳
 - 東京都新宿区新宿一丁目四九番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 彼ノ矢洲友
 - 東京都渋谷区本町五丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 中村洲心
 - 東京都杉並区高円寺三丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 浅野晴風
 - 東京都中野区中野三丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 錦心流琵琶宗家本部
 - 支部長 志田錦禪
 - 甲府市相生町二丁目四ノ七番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 長谷川錦侯
 - 山梨県小原西一丁目一六九番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 近藤錦秋
 - 甲府市朝日三丁目十一番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 福手錦稜
 - 福井県鯖江市三丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 西山錦耕
 - 東京都練馬区旭町二丁目二四番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 錦弥
 - 埼玉県八潮市八条五丁目三番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 宗家入谷錦鳳
 - 伊東市湯川一丁目一四ノ六番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 島田春水
 - 東京都品川区小山三丁目九番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 支部長 弘沢雨水
 - 市川市押切二丁目二七番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 千葉玉山
 - 東京都豊島区長崎七丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 古家絃風
 - 東京都葛飾区立石二丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 遠藤鶴東
 - 千葉県登戸四丁目九ノ二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 須田誠舟
 - 東京都中央区銀座六丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 赤心流家元
 - 赤心流鶴翁
 - 静岡県西草薙町三丁目三番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 赤心流鶴翁
 - 静岡県西草薙町三丁目三番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 最上穂洲
 - 八戸市内丸九十七番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 伴野鶴風
 - 静岡県登呂三丁目一ノ二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 奥村慧水
 - 名古屋市東区千代田町三丁目三番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 山田速水
 - 東京都品川区西目黒三丁目二番 電話(高崎)〇三三三三三番
 - 四方田錦隆
 - 静岡市古町二丁目二四番 電話(高崎)〇三三三三三番

昭和四十九年十二月一日発行



琵琶特集 十二月号

筑前琵琶芸術の精粹綜合美苑の 旭会全国大会福山公演の豪華版成功

二日間的美技絵巻に大衆絶賛す

九州博多の郷土芸が橘旭翁師(初代)によって東京に進出し、国名を冠して「筑前琵琶」稱流と名乗る。以来八十年全国に普及され、旭会創立されて六十余年に及ぶ。この間多少の盛衰期はあったが全国大会を開催された事四十三回、今秋四十四回の全国大会大演奏会が主催日本旭会本部、司会備後旭会で十月十九、二十の両日昼夜二部公演で福山市民会館に於て挙行された。この大会の実現には四世橘旭翁宗家、日本旭会長松岡旭淵、副会長長崎藤旭章、理事長村本旭風、理事吉田旭明の四首脳と実技最高位の藤巻旭鴻、柴田旭堂、河野旭保各大師範の巨匠並に理事役員、別して司会側の備後旭会長川崎旭海氏と役員は、近年混迷しつつある思想と悪世相淨化して精神社会建設のために国民伝統精神を能く持って公益奉仕を志し、市議會議長並に各方面有志の協賛を得て実行の運びとな

茶道曲、華道曲と美しく楽しめる曲が二十番も続演され、殿りは大阪の原島旭姓さん「大物の浦」であった。新琵琶楽民謡三つが唄と琵琶の外に琴、尺八半奏入り踊りで賑々しく上演、近代筑前琵琶の興味を喚起し喜ばれ八時過ぎ終演となった。この日曇天であった空は三時過ぎより雨が降り出し大衆を氣遣わせた。

大会第二日の十月二十日は前日の雨が止んで快晴の秋晴れで、出足早い来聴者で開会前より好調の入りである。昼の部は定刻十一時に前日同様の司会側近藤、高垣松本、細谷四会員の「名勝福山」合奏を序奏に開演、各地旭会よりの参加代表各手の独奏と歌絃分離奏で古老と新鋭の花形連の競演がこれも前日の如く舞踊曲、茶道曲華道曲が昼夜に亘り上演された。その豪華さに大衆を感動させた。昼の部の段りは大師範小倉の河野旭保女史で、流石に名人の貫祿溢れた優雅典雅な至美の牙えにファンを魅了し大喝采を受けた。

夜の部は四時開演、地方参加女流伊藤、富樫、高千穂、中島、梅原、西川の定評名花の合奏「朝の綱」を序奏に、各参加代表連の独奏、連奏、歌絃分離奏と華道、茶道、舞の曲が一段華やかに次から次へと上演され、今日を晴れの舞台と意気込みの大家や精鋭花形の技の牙えが發揮されて興を押しファンは容易に惹き込まれて拍手起る。神戸の柴田旭堂、東京の齊藤旭章、藤巻旭鴻の三名匠の単奏は各自独特の長所を顕揚して重量感を示されたのは流石である。最



(内山鶴翁師)

精神頓揚と文化の発展向上に大きく貢献されている。師は「天啓」を開業以来数十年の食通家で、歴々家庭料理の調理に就いてもテレビやラジオで放送し公益面にも尽力されつつあるが、今回市長より市民文化賞を授与され表彰されたのは真に目出度い。師は重厚明瞭の情義人で北海道神宮琵琶講長で

現代琵琶界に稀な人格者と称えられる東京文京区の小山田賞水師が主催である錦心流琵琶水会本部主催の錦心祭全国大会大演奏会が、秋晴れ爽やかな十一月一日午前十時より東京銀座のガスホール六階会場にて開演された。会長、顧問副会長、理事と各役員総力上げての準備で、舞台は金屏風電燈を背景に、向って右へ流祖永田錦心師の尊影を、左に本部並に各参加支部の会旗二十余流を飾った。演奏は本部理事藤原、横溝、関、松本、藤川五氏御合の「徳を錦心」序曲に、各地支部代表の単奏や合奏等十八曲が続き、本部名誉会長松田静水老が「夕立の雨」で豪壮な芸風の腕技を示し満堂を震らせた。更に山田旭水老始め各代表の独奏と合奏があり三十番目に名譽顧問岩澤水氏が「本能寺」の曲で元老たる貫祿曲の技を聴かせた。演奏は更に各地代表による熱演で福井支部吉野洲水に至り、最後は本部理事山口速水、鈴木、内田、高橋、石崎理事等五氏の掛合五條の曲で午後八時近く終了されたが好天に恵まれ来聴者多く声援盛んで成功した。各地代表中最も賞讃されたのは横濱の板倉鶴水、逗葉の三門葉水、若小牧の森水、武蔵野の杉山旗水、小村の森水、大阪中山旗水、福井吉野洲水諸氏と、絃で川崎の小林聰水氏で、声援の拍手一際多く掛け声もあって活気づいたのが注目された。

近く神宮詩吟講をも結成して敬神思想を普及し、全国同好と交友して精神文化の進展向上を図りたいと言。

一水会の錦心祭 大会は好人気で

富山の田中重次氏 最高裁長官表彰を

富山市の名士田中金庫会社社長田中重次氏(錦清流富山支部長)は、重厚温情の紳士で同地商工会議員、政党支部役員、富山地裁、富山家庭裁判所の調停委員その他の名譽職を双肩に荷って活躍され徳望を讃えられているが、氏は十月三日東京三宅坂に新築された最高裁判所大講堂に村上長官より招かれ表彰の表彰を受けられたと目出度い。田中氏は昭和二十五年一月に調停委員に選ばれ爾來二十五年間奉仕された功績により今年度の譽れに浴されたもので、満七十五歳の高齡に達したと、氏はこの機会に調停委員を辭して社会福祉方面に貢献したいと語る。

前田秋声師活躍

東京四谷界の大家前田秋声師は今夏北海道から東北地方を観光して健康を取り戻し、今秋は久しぶりに十月二十日の正統会秋の大会に出演を始め二十七日横濱の妙光寺で、三十一日には宮城原白石の不忘荘、十一月十日横須賀の故瀬戸頭水師追悼会、同十七日には京都琵琶協会の秋の大会と出演が決まされて感々人気を呼び豪傑な芸



(前田秋声師)

風に光りを添えている。

横須賀四絃富士会 故瀬戸翁追悼大会

横須賀市にある四絃富士会の創立者である作詩名士の瀬戸角馬師が昨年逝去された。同会顧問前田秋声、理事長土橋虎水氏を中心となり現二代竹内会長並に会員と諮り故瀬戸師の追悼琵琶吟大会を十一月十日正午より勤労会館に於て開催された。出演者は前田秋声、土橋虎水、若林、安西、齊藤旭郎、酒井、瀬谷、鈴木の各会員と豊助の平野鉦水、石井桑水、齊藤殊水、曾我竜城、山田幻水の湘南琵琶界の五明星で、吟界人数名も協賛出場され賑った。

広瀬水師秋の会

関西に於ける錦心流の大御所である大阪の名匠広瀬水師の秋の演奏会は、公演一六一回目より十一月四日十二時半より朝陽会館にて催され、会員の外地元と名古屋、東京、神戸、静岡、徳島、逗子より名手と花形連十一名が特別出演として協賛参加されての競演で人氣を呼び盛況。会主水師の「茨木」弾奏と逗子の平野、名古屋の奥村、阿部、神戸竹内、大阪中山各氏の演技が研々好評を受けた。

本社社長宅来訪者

最近の鈴木木蓄士氏の友社長宅の来訪者は、大坪旭邦、大坪令姉、荻野甲水、須田旭綱、内山鶴崇、加藤錦陽、松山市の佐藤晃枝の各氏である。

大坪旭邦師訪日

米国ロサンゼルス市在住の筑前琵琶橋会の名人大坪旭邦師は、所用のため十月始め訪日され十日午後



(大坪旭邦師)

後芸の友鈴木木蓄士を令姉と共に訪問して一時間会談された。女師は十一月中旬まで令姉方に滞在されるが、その間に故郷佐賀県を訪づれて両親の墓参を済ませ、また各知人と会談するなど多忙の日を送りて帰米された。

吟詠錦城会のハワ イ観光会員を募集

吟詠の名匠山元錦城師は、先年米国観光に八十余名同行で成功されたが、今度はハワイ観光団を企画し百数十名で来年三月二十八日頃に出発予定であると。詳細は錦城会本部へ照会を。

ロシアンゼルスで 水藤錦陽師追悼会

米国ロサンゼルス市在住の移住者が最も多く、邦楽芸能が愛好されている。琵琶も各流各派の名流名手が永年に亘り在任され普及されている。従って日本から各名流大家が渡米されては演奏会の催しが暫々行われる。去る六月に琵琶同好会主催で昨春逝去された名流故水

藤錦陽師の追悼演奏会が催されて故師の御冥福を追祈され賑った。この会には遠井錦声、大坪旭邦、福手錦波と三流派の代表名手始め各派の知名弾奏家多数が出演された。異郷での催しは床しい事である。

五大家の名吟放送

現代吟詠界の名匠毎川鏡江女師、宮内風師、深田光盛、飛田風輝、寺山天洲の五大家は、十月二十四日午後五時より三十分間に亘りFM放送「きょうの邦楽」に出演され好評を博した。

稲垣旭玲師逝去

北海道小樽市花園五丁目七ノ九居住の芸家稲垣旭玲女師が十月二日夜逝去の報を受け驚いた。女師は筑前琵琶橋会の古大家で北海道道筑前琵琶の名人で、同道開拓の



(稲垣師)

功勞者であり、また吟詠流の創設者で宗家として多数の門下を養成し、全国各地に支部を置き活躍されて昨年稲垣流十周年記念全国大会を開催された巨匠であった。この訃報は真に痛惜に耐えぬ。茲に謹んで敬悼し御冥福を祈る。葬儀は仏式に依り執行され盛葬で余徳を飾られたと。法名は

琵琶コンクールの 一、二位入賞者放送

去る九月二十九日東京で行われた琵琶コンクールで一位、二位に入賞された座間淑水、佐藤晃絃小堀津三者の放送が十二月十二日午後五時NHKFMで放送する

神戸旭会60年記念会

筑前琵琶神戸旭会創立六十周年記念演奏大会は、十一月十日十一時より神戸新聞文化センター七階で催され、田中旭昇幹事長の挨拶のあと開演、松岡旭岡、柴田旭堂、西名、松岡旭文、田中旭昇、伊藤旭山、宮内、橋本、若宮旭登、船野の諸名手他から出演され、奏曲二十曲に及び盛會。

晴風会霜月例会

東京琵琶界の芸家淺野晴風師の晴風会十一月例会は、十日夜六時より杉並区立高円寺会館で催され、浅野会主、山下、杉山、加藤錦陽、大関、青木晴城、坂入の諸氏外出演された。

日本芸能団一行の 国連本部敬表演奏

鶴田錦史名人

貫録至芸は絶讚

十月二十日渡米された笹川良一先生団長の日本芸能団一行は、二十四日国連本部に於て小沢征爾氏指揮で総員百二十余名が三部に亘る表敬演奏を行い、国連参加の世界各国名士臨場されて美しく華やかな演技に感動されて激賞された。賑やかなオーケストラの内に優雅典麗な琵琶の音色と撥さばきの至妙さに満場恍惚の様が見受けられ、また大小幾つかの太鼓の音響と打者のハッピ録奏も珍らしいがられ大好評で成功であった。この催しは東京の各新聞で逸早く報導され、またテレビでも二回に亘り実況を放映され、トップに鶴田師の姿が出たのでファンを喜ばせた。



(鶴田錦史師)

十二月八日に 伝統芸能公演

日本の伝統芸を永遠に保存しようとする者の藤村正義氏の主催で創設された「伝統芸能の会」は、舞踊、音楽、劇を上演、今年六回目の公演を十二月八日夜二部開演で虎の門の国立教育会館ホールにて開かれる。この度の上演種目は加藤錦陽氏構想の舞踊創作「雛祭り」で、奇想の面白味を兼ね、その他民謡、琵琶の音楽とその道の有志人が出場されるので人気を呼ばん。

虎の門教育会 館で昼夜開催

熱巧演つづきの 五州会公演好評

洲風会本部の前田、桑名、平井荒川、松崎の五幹部で昨年夏結成された「五州会」の第四回演奏会は、十一月四日夕五時半より上野

御礼

先般広島県福山市に於て開催された筑前琵琶日本旭会主催、備後旭会司会の全国大会の際は、後旭会司会の金田大会の際は、各各地よりの参加代表名手各位司会備後旭会皆格別御禮を感謝に堪えません。茲に厚く御礼を申し上げますと共に今後一層の御発展をお祈り申し上げます。

日本旭会殿

芸の友社 鈴木木蓄士

御礼御挨拶

この度筑前琵琶保存会創立十周年記念にお招きに預り訪問の御り嶺旭蝶女師一家の重々の御厚情並に保存会よりの御優遇に心より感激致し茲に厚く御礼を申し上げます。今後同会の意義を申し述べます。今後同会の意義を申し述べます。

芸の友社 鈴木木蓄士

嶺旭蝶殿 筑琵琶保存会殿

竹下光彦氏結婚

琵琶名家竹下翠風女師の長男竹下光彦氏は、中村玲子嬢と婚約中であつたが、今回金田一春彦様

「法崇院稲垣喜楽琴清大姉」。合掌

平家琵琶の伝承者 館山甲午翁が引退

平家琵琶の伝承者で無形文化財指定保持者の館山市在住の館山甲午翁(80)は、引退を決意し去月群馬県前橋市の婦人青少年センターで別れの演奏会を催された。前橋市は大正十二年から十四年間音楽教師として旧前橋高女校に奉職された因縁の地である。

赤心流鶴翁師快復

「静岡の考え」の主筆者赤心流鶴翁師の孫師は、晩春頃より健康を害し治療中であつたが、危機を脱し快方へ向われたとは喜ばしい、一日も早く全快を祈る。

年賀交礼申込 み期限

芸の友紙上の年賀交礼の申込みは十一月二十八日締切りの期限内にお忘れなくお申込を願います。

芸の友社営業部

山田洲鳳師秋の会

東京琵琶界精鋭山田洲鳳師の秋のおさらひ会は、十一月三日午後洲鳳会館にて行われ、一門の吟詠三十余番と三田村錦陽師を筆頭とする清川中の西村、柴田、西、洲楓会の中村、彼ノ矢、小田原の若林、振興会長鈴木氏等の協賛琵琶や吟の演奏があり大賑いであつた

藤川晴水秋の会

東京錦心派の名手で一水会本部理事藤川晴水氏の秋の演奏会が十月四日夜上野本牧亭にて催され、山口速水、末吉希水、石井桑水、平野鉦水、藤川晴水諸氏と錦心同好三名、都派の新鋭五人合奏にて出演し人気を添えた。

岳城流城山会の 秋季演奏会開く

戦後琵琶復興に活躍された東京斯界の權威に敬慕と称えられた名流、岳城流家故吉村岳城師の遺業は、高弟の伊藤岳英、輕部岳瑞両者を中心に各地散在の同門で保持されて来たが、伊藤師が永い療養生活から今年二月永眠されたので主任は輕部師唯一人となった。輕部師は真正直の性格者で芸人であるが積極性薄く流派の発展策に心配される絃友もいる。この折日城山会では久し振りに十一月三日文化の日にて三州俱樂部にて秋の演奏会を開催され、輕部岳瑞、大塚岳英、新納岳窓、広川岳楓、石山岳殿、高崎岳灯、津和野岳聖諸氏と杉秀代理菅門義則氏並に輕

岳城流城山会の 秋季演奏会開く

夫妻の媒妁で十一月七日憐憫の典を挙げられたのは目出度い。同日午後五時半東京霞ヶ関ビル三十五階の東京会館に於て披露宴を催され六十余名が出席、媒妁の金田一博士より新郎新婦のご紹介に続いて早稲田大学教授(竹下氏の母校)を始め勤務先の会社の役員名士、新婿関係の有志、学友等二十余人より祝辞が述べられ、最後に母堂翠風女師関係の鈴木蓄士の新夫妻へのお祝いの辞で七時四十分頃終宴。新婚旅行は翌八日九州へ向うと。新郎光彦君(三十才)は作詞家大坪草二郎、竹下翠風夫妻間の一粒で早稲田大学出身の秀才で美男子。新婦玲子さんも大学卒の才媛で頗る明麗な現代的美人で、その前途を祝福されている。

